

東濃社会教育だより **Plus**

—研究大会—

岐阜県恵那県事務所
振興防災課 振興防災係
社会教育担当：牧野賀一
〒509-7203
恵那市長島町正家後田 1067-71
TEL:0573-26-1111 内線 210

必見！東海北陸社会教育研究大会岐阜県大会 報告

東濃地区からは恵那市社会教育委員の皆様が実践発表

今年度は、東海北陸社会教育研究大会が岐阜県で開催されました。「かわりやつながりが希薄になりつつある」との懸念が募る中、人としていかにあるべきかが改めて問われる時代を迎えているのではという問題意識から、社会教育に携わる者にとっても、新たな学びの時を迎えているという趣旨のもと開催されました。500名を超える社会教育委員、公民館関係者、社会教育関係者の方々が集いました。

＜大会主題＞ 学びと絆を深める社会教育
～人・地域のつながりをより確かなものにする社会教育の推進～

期日 令和7年10月3日(金) 10:15～16:00

会場 ココロかさなる CNN センター(瑞穂総合センター)、
瑞穂市民センター

◎記念講演 「これからの『学び』について考える」

講師 岐阜大学社会システム経営学環教授 コー・イノベーション大学理事、副学長 高木 朗義 先生

教育の現場において「手段が目的化」していないかという問題提起からはじまり、これからの社会では答えのない問題を解くことが求められていく。高校での「探求」の時間の取組について、提案して終わってしまう学生(生徒、児童)は、「頭でっかち」になっていないか。試行錯誤の繰り返しによるアウトプットの方法をもっと学ぶべきではないか。それが「行動力」へとつながっていく。

これらの課題を解決する取組の例として、「問い」を立てる力の育成、「対話」を重視した学習過程、長期実践型インターンシップなどの特徴をもつコー・イノベーション大学での「学び」についての紹介があった。大学では、地域の専門人材が学生をサポートすることにより、地方の中小企業の活性化に貢献する人材の育成を図ることがめざされる。



◎分科会 第1～5分科会 テーマと発表者の紹介

第1分科会 「家庭教育支援」

＜福井県＞越前市社会教育委員 松永恵美様 「子どもたちの未来を育む家庭教育支援」

＜岐阜県＞池田町ジュニアリーダーズクラブ指導員 勝野茂優様

「子どもの体験活動推進による家庭教育支援をめざして ～ジュニアリーダー育成活動とNPO 法人活動をととして～」

第2分科会 「青少年の健全育成」

＜富山県＞黒部市教育委員会生涯学習文化課 伊東昭英様 「ジオパークを活用した青少年事業の改善」

＜岐阜県＞坂祝町 C・S コーディネーター 宮内智鶴子様 地域・園・学校協働本部長 梅田千枝子様

「だいすき SAKAHOGI と言える子を願って」

第3分科会 「地域文化の振興」

＜石川県＞能登町教育委員会 寺口学様 「災害と伝統文化の振興」

＜岐阜県＞郡上市 教育委員会社会教育課 小田松尚様

「郷土文化を継承し、たくましく生きる郡上人を育む ～郡上おどり、白鳥おどりを受け継ぐ子どもたち～」

第4分科会「地域の活性化」

<三重県>元名張市社会教育委員 大垣孝彦様

「“ほっとまち”桔梗が丘を目指して ～桔梗が丘自治連合協議会プロジェクト事業～」

<岐阜県>下呂市金山町東地区集落支援員 鈴木亘様

「地域に新しい風を -関係人口が育てる地域の未来～金山町東地区における若者との協働とまなびあいの実践～」

第5分科会「社会教育委員の役割と課題」

<愛知県>碧南市社会教育委員 中根孝明様

「誰もが生きがいを感じる地域社会の実現に向けて ～社会教育委員の関りの実際と課題点～」

<岐阜県>恵那市社会教育委員 相原正文様 「恵那市の社会教育委員会の役割と方針」

《背景》平成23年度の「三学のまち恵那」宣言とともに公民館はコミュニティセンターに名称変更し、公民館長は三学塾塾長に代わり地域の生涯学習の推進役となった。令和3年度に市内全域で地域学校協働活動が導入された。

《目的》社会教育委員の役割を明確にする。

《実践》三学塾塾長の役割と共通活動、地域学校協働活動の推進について調査、研究し、教育委員会に対して提言や答申を出した。

【恵那市の取組から学びたいこと】 キーワード「主体となり課題を解決する社会教育委員」

- (1) 恵那市の社会教育にかかわる最新の課題（塾長、地域学校協働活動推進員）について調査し、その解決の方向を提言や答申という形で示されている点。
 - ・当事者の声を直接聞き、課題を明確にし、具体的に活動する時に必要なQ&Aを作成。
- (2) 社会教育委員としての目的を果たすために6つの留意点をまとめ、今後も活動を継続できるように考えられている点（以下、特に学びたい2点）。
 - ・委員の総意の下にテーマを決め、内容について焦点化を図り、解決策をまとめる。まとめた後も、社会教育行政の方策の参考になるよう提案する。
 - ・答申を作るため、委員からなるプロジェクトチームを作り、委員会で審議の上まとめる。
- (3) 地域学校協働活動を進めていくにあたって、持続可能な地域づくりの視点を大切にしながら活動されている点。
 - ・学校や地域に過度な負担が掛からないようにする。『子どもを核にした地域づくり』を目指し、学校と地域とが連携・協働して進められるようにするというスタンスで支援。
- (4) 活動を進めていく過程において、社会教育委員さん方自身が成長を感じられる活動となっている点。
 - ・ある社会教育委員さんの言葉「多様な見方、意見があるなど感じ、大変な作業でしたが、その中で新しいアイデアや考え方が生まれ、大変すばらしい過程だったと思いました。」

実践発表後に、「恵那市の取組は、東濃地区内でも進んだ活動がされており、常に社会教育委員のあるべき姿を示してくださっている」という声をいただきました。また、他県の方々からも多くの質問や称賛の声をいただき、盛況でした。恵那市社会教育委員の皆様には、東濃地区研修会（8/21）と今回と2回、内容を変えて発表していただきました。ありがとうございました。

＜ 令和7年度東濃地区社会教育振興協議会 ＞

事務局は恵那県事務所振興防災課及び瑞浪市にあります。 FAX 0573-25-7129

TEL 0573-26-1111（内線210）Eメール:makino-yoshikazu@pref.gifu.lg.jp